

# ✧ 図書館だより

芦刈観瀾校中学部 芦の子図書館 平成30年12月



12月になり今年も残り少なくなってきました。今年1年でどんな本を読みましたか？心に残る楽しい物語や、今の自分にぴったりの言葉が書いてある本などほんの少しでも印象に残る本との思い出があるといいなと思います。

冬休みに入り、少しゆっくりとした時間が取れる人もいるかと思います。どんな本でも良いので本を手にとって集中して読んでみてほしいなと思います。

図書館では勉強のやり方など学習関連本も置いていますので借りてみてくださいね。



## 図書館からのお知らせ

☆冬休み前の返却・貸出について

12月17日（月）～12月20日（木）は冬休み前の返却・貸出期間です。

1・2学期に借りた本は1度返却をして、借りなおしましょう。

☆本の紛失・汚破損に注意をしてください。

冬休みには、自分の部屋の大掃除をする人もいます。図書館で借りた本を捨ててしまったり、汚してしまったりしないよう十分に注意をしてください。図書館の本には、バーコードやラベル、ブックコートがついています。本を捨てる前にもう一度確認をしてください。

☆冬休みは図書館を閉館します。借りている本は1月11日（金）までに返しましょう。

## 新春読書感想文課題図書を紹介

	「髪がつなぐ物語」 別司芳子/著 文研出版 医療用ウィッグとして活用するヘアドネーション活動についての記録。		「西郷隆盛 上」 小前亮/著 小峰書店 波乱の時代を駆け抜けた英雄の生涯を描いた1冊。
	「マンザナの風にのせて」 ロイス・セパバーン/著 文研出版 1942年、アメリカ日系移民の強制収容所を描いた物語。		「夢見の占い師」 楠木 章子/著 あかね書房 人里離れた小さな村を訪ね、薬を届ける時雨と小雨の2人が背負う運命とは…。
	「スマイルムーンの夜に」 宮下 恵菜/著 ポプラ社 新しい自分と居場所を獲得していく中学生の姿を描いた物語。		

# おすすめの本紹介



## 「DAYS」安田 剛士 【講談社】

なんのとりえもないけれど人一倍熱い気持ちをもった柄本つくし。中学時代の不良に絡まれていた時サッカーの天才、風間陣と出会う。「いっしょうけんめいに走ればいい。そうしたらみんな信用してくれる。」その言葉がつくしの運命を大きく変えた。

サッカーの名門といわれる高校で、サッカー初心者がつくしが自分にできることを必死にさがしながら頑張っていく姿やサッカーに青春をかけた高校生たちの活躍を読んでみてくださいね。



## 「東大ナゾトレ」 【扶桑社】

頭が柔らかい人はすぐ解ける。テレビのクイズ番組「今夜はナゾトレ」で人気コーナーを書籍化。

ヒントなしで解ける問題はあるかな？ヒントは3つ。どの段階で解けるか友だちと一緒に考えるのも楽しいですね。

特に書籍オリジナルの問題にチャレンジしてみてください。頭の体操にぜひどうぞ。

## 「車夫 3」いとう みく【小峰書店】

高校を中退し、人力車のひき手（車夫）の世界に飛び込んで2年がたった走とそこで出会う人たちとの心のふれあいを描いた1冊。

人力車を取材に来た少女は、走の俤にのりながらつぶやく。家族のために自分の道をあきらめたほうがいいのではないかな…

迷子の男の子と女性、走の家族にかかわりのある男性や力車屋の人々の変化など今回もたくさんの出会いが走を待っています。



## 「レシピにたくした料理人の夢」百瀬 しのぶ【KADOKAWA】

幼いころか難病の母にかわり料理をしていた昇兵は、いつしか「食べてくれた人を笑顔にする料理人になりたい」と夢をえがくようになる。

しかし、難病を患っている母と同じ病気にかかっていることを知った昇兵。あるとき料理をすることを止められてしまうが、何とか料理をすることができないかと「火をつかわないレシピ」を考えた。

夢をあきらめないこと、最初に思い描いた夢ではなくてもできることがあることを教えてくれる1冊です。

